

# 目次

はじめに	3
本書をお読みいただく前に	4
本書の利用のしかた	5
<b>1章 家づくりの第一歩として押さえておきたい土地と木に関する初歩知識</b>	
1 土地の品質について	12
2 木の品質について	21
<b>2章 工事契約前までに確認しておきたいこと</b>	
1 架構の不具合をなくす	28
2 契約書類について	32
コラム1 木材の乾燥について	37
<b>3章 大工さんの仕事に関し契約後から上棟までの間に確認しておきたいこと</b>	
1 刻み段階での不具合をなくす	40
2 アンカーボルトと土台の照合	44
3 プレカットの施工品質を考える	48
<b>4章 鳶さんの仕事に関し契約後から上棟までの間に確認しておきたいこと</b>	
1 地縄・水盛り遣方	52
2 根切り・地業	55
3 基礎工事 — 配筋と型枠	59
4 基礎工事 — コンクリート打ち	65
5 基礎工事 — 養生	69
6 基礎工事 — 基礎コンクリート打設後の工事	71
7 基礎工事 — コンクリートと基礎の形	76
コラム2 品確法(1) — 性能表示と評価について	81
コラム3 品確法(2) — 瑕疵担保について	82
<b>5章 建方作業に関し確認しておきたいこと</b>	
1 土台の設置	84
2 建方、養生	89
<b>6章 上棟以降に大工さんが行う仕事に関し確認しておきたいこと</b>	
1 小屋組、野地板	94
2 軸組	98
3 床組	104

4 金属製建具工事	107
5 本書に記載した建材と有害性情報	110
6 内部造作工事	120
7 外部造作工事	128
8 断熱工事	133
コラム4 現場打ち工法による地下室施工の一例	138

<b>7章 上棟以降に大工さん以外の職人さんが行う仕事に関し確認しておきたいこと</b>	
1 屋根・板金工事	140
2 内部の左官、内装、塗装、木製建具	145
3 外部の左官、外装、タイル、塗装、防水	149
4 給排水・ガス・電気・空調・住器工事	157
5 その他の工事(防腐・防蟻処理、仮設工事)	163
引用文献	171
参考文献	172
索引	173
あとがき	176

## あとがき

建築主の方を対象に、1996年から工事監理のポイントを『あなた自身で出来る「在来工法木造住宅」の工事監理・公開講座』と題してインターネット上(1999年12月1日にアドレスを<http://www.asahi-net.or.jp/sesyukan>に変更)で公開してきました。

そして公開以来、多くの建築主の方々から、今現場で起きている問題の数々を教えてくださいただけでなく、埼玉県庄和町の上村様をはじめとして、貴重な情報も数多く提供していただきました。それらのひとつひとつが、この本の内容をより充実したものとする力になったと考えており、深く感謝しております。

本書の執筆にあたっては、ホームページとは構成や内容を一新したいという意図から、新たに取材を行いました。そうした取材に協力して下さった施工会社のなかに、たまたま「匠の会」の会員社が2社含まれていました。この「匠の会」は、ある住宅情報誌で大変低く評価されています。しかし、本書に掲載された写真をご覧になれば、少なくとも筆者が取材した仕事に関しては、そうした評価はあてはまらないことがおわかりだと思います。有名なハウスメーカーであれば、必ず品質の優れた建物ができるというわけではなく、実際に現場で働く職人さんたちの技能と誠意が品質を決定し、地元で頑張っている工務店であれ有名ハウスメーカーであれ、そうした職人さんを確保できるかどうか、良好な「施工品質」を実現するための要点であると考えていましたが、はからずもそれが再確認できたと感じています。

取材には多くの施工会社、材木市場、そしてプレカット工場などの方々にもご協力をいただきましたが、特に、普段どおりの仕事をするなかできちんとした仕事を見せて下さった、「こもだ建総」と「マルイ木材」の大工さんをはじめとした職人さんたちや社員の皆様に、深く感謝しております。

筆者は、設計・監理の実務に関わるようになってからまもなく30年になりますが、木造住宅に関してはたかだか10年余の経験しかありません。したがって、知識量は決して十分ではないと承知しているつもりです。ただ、言い方を換えれば、20年近い住宅以外の経験を経た上で木造住宅の現場の実情を知ったことで、問題点がよく見えるという側面もあると感じています。残念なことに、住宅工事では当たり前のこととして行われている工事のなかには、問題のある仕事も見受けられるといわなければなりません。もし、筆者が最初から住宅に関わっていたら、そうした問題点に気づいていたかわからないと感じています。

もちろん、本書に記載された内容が「施工品質の確保」のために必要な要点のすべてではありませんし、浅学非才のために不十分な記載となっている個所も少なからずあると思っています。そうした点には読者の皆様のご叱責を賜わり、改善の機会が与えられた際に盛り込むことでお許しをいただければと考えております。

最後に、設計事務所名鑑にも載っていない無名の設計者に本を書く機会を与えて下さった井上書院の関谷勉社長のご英断と、編集を担当していただいた石川泰章氏、山中玲子氏のご努力に深く感謝するとともに、私事で恐縮ですが、私を支えてくれた妻と子供たちに感謝して筆を置きます。

2000年8月 力石眞一

### ●著者

力石眞一 (ちからいし しんいち)

1971年、武蔵工業大学工学部建築学科卒業/同年、清水建設株式会社設計2部/1989年、生活文化施設担当建築設計部・教育施設設計担当課長を経て、力石眞一建築設計事務所設立、現在に至る。

所在地 埼玉県新座市東北2-7-30

TEL 048-476-9061

Eメールアドレス [chiisan@asahi-net.email.ne.jp](mailto:chiisan@asahi-net.email.ne.jp)

ホームページURL <http://www.asahi-net.or.jp/sesyukan>

一級建築士

日本建築学会正会員

著書『住宅現場・公開講座 品質を守る木造住宅の計画と設計』井上書院(2002)

### ●執筆協力設計事務所

金田建築構造設計室

所在地 東京都足立区柳原2-28-6-103

TEL 03-3870-2590

### ●取材協力施工会社 (50音順)

株式会社こもだ建総

所在地 埼玉県大宮市御蔵797-2

TEL 048-684-8888

匠の会会員

こもだ建総の施工事例には掲載写真に(\*)を付けてあります。

マルイ木材株式会社

所在地 東京都東村山市久米川町1-16-12

TEL 042-397-0101

マルイ木材の施工事例には掲載写真に(\*\*)を付けてあります。

### 住宅現場・公開講座 品質を守る木造住宅のつくり方

2000年8月30日 第1版第1刷発行

2009年3月20日 第1版第10刷発行

著者 力石眞一◎

発行者 関谷 勉

発行所 株式会社 井上書院

東京都文京区湯島2-17-15 斎藤ビル  
電話 (03)5689-5481 FAX (03)5689-5483  
<http://www.inoueshoin.co.jp/>  
振替 00110-2-100535

装幀 川端博昭

印刷所 秋元印刷所

ISBN978-4-7530-1978-6 C3052

Printed in Japan

・本書の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社井上書院が保有します。

・JELIS(株)日本著作出版権管理システム委託出版物)

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。